

2026年（令和8年） 5月22日 金曜日

山口県鉄構工業組 総会に30人出席 安全・品質守り続ける

益田理事長



山口県鉄構工業組合（理事長＝益田和男・マスタ鉄工社長）は19日、山口市内のホテルで第52回通常総会を開催、約30人が出席した。

総会後には、青年部会と合同で来賓を招いての懇親会も開いた。冒頭、5月14日に逝去した同組合前副理事長で徳機製作所前社長の岡田直矢氏への黙とうがささげられた。

総会で益田理事長は「業界ではかつてないほどに不安定さが増している。原油価格の高騰、塗料やシンナーの供給不足が現場の負担となり、工期が遅延するなどの影響も出ている。また人材不足、技能継承、働き方改革、省力化への対応など、課題は多岐にわたる。本年度はこれらの課題に対する情報の共有、安全品質のさらなる向上、若手の育成に向けた研修会の開催などに

重点的に取り組んでいく。環境が変わる中でも、地域の建築、インフラを支える存在として、安全と品質を守り続ける使命を果たしていこう」とあいさつ。議事では役員改選が行われ、新たに長井工業の永井宏文社長が副理事長に就任した。益田理事長、宮本直治副

青年部会総会に14人出席

益田会長



山口県鉄構工業組合青年部会（会長＝益田裕樹・マスタ鉄工常務）は19日、組合の総会に先立ち第32回通常総会を開催、14人が出席した。

益田会長は「われわれの業界では仕事が減っている中、塗料不足の問題もあり、工事が延期になるなど厳しい環境が続いている。全国的に明るいニュースは少ないが、青年部会の横のつながりで情報共有など図り、この厳しい環境を乗り越えていこう」とあいさつした。議事では25年度の事業報告や収支決算報告、26年度事業計画案のほか、規約の一部改定案などが承認された。

本年度から青年部会の相談役を務める、同組合の宮本直治副理事長（宮本鉄工所社長）は「青年部会は、未来の業界を担うリーダーを育成する場だと確信している。われわれも支援していくので、活発な活動を継続してもらいたい」と述べた。